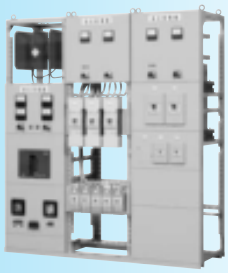
7

高圧受電設備



目次 ····· P.786

曙 キュービクル ····· P.788

EO キュービクル ····· P.795

EO 認定・推奨キュービクル ····· P.799

EO マルチパネル 高圧盤・低圧盤 ····· P.802

K形キュービクル式配電盤 ····· P.804

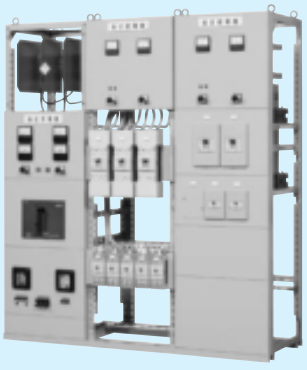
※「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」に基づく対応化製品

目次

曙 キュービクル(PF·S形)
RM·PS·PW·PD形……P.788～794

EO キュービクル
H形(屋外形·屋内形)
P形(屋外形·屋内形·ステンレス製屋外形)
……P.795～798

EO 認定キュービクル……P.799·800
EO 推奨キュービクル……P.801



EO マルチパネル 高圧盤……P.802
EO マルチパネル 低圧盤……P.803

K形 キュービクル式配電盤……P.804

ご案内

安全にご使用していただくために

選定に際して

⚠ 警告
人身事故、火災事故等の原因となります

1. 使用する回路条件とカタログに記載の性能をよく比較・検討し、間違いのないよう選定してください。
   回路方式

一次側電圧	−	6600V	3相3線式
二次側電圧	動力系統	200V	3相3線式
	電灯系統	100/200V	単相3線式
周波数	50Hz又は60Hz		

2. 定格容量は収容変圧器容量をご確認ください。

⚠ 注意
発熱による火災及び電気機器損傷の原因となります

1. 避雷器は取付けておりません。必要な場合はご指示ください。
2. 各変圧器一次側の開閉器を必要とする場合は対応する機種を選定してください。
3. 高圧地絡継電器付を必要とする場合は対応する機種を選定してください。

施工に際して

⚠ 警告
人身事故、火災事故等の原因となります

1. 電源を接続する場合の各相は正しく接続してください。相を間違えると異常電圧発生の原因となります。
2. 導電部の接続ねじは適正な締付トルク範囲内で確実に締付けてください。また輸送などで接続ねじが緩む場合があります。必ず増締を行ってください。発熱による火災の原因となります。但し、機器に指定値のあるものはそれに従ってください。
3. 機器及び端子へ電線を接続する場合は通電電流に適合した電線を使用してください。また圧着端子の使用できない端子には2本以上の電線を接続しないでください。発熱による火災の原因となります。
4. 圧着端子、圧着工具はJIS指定メーカーの物を使用ください。発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意
発熱による火災及び電気機器損傷の原因となります

1. キュービクル設置用基礎は水平になるようにし、排水が行える構造としてください。
2. キュービクルの固定は指定の基礎ボルトで確実に固定してください。
3. キュービクルは容易に操作、点検のできる保守スペースのとれる場所に設置してください。性能、機能を損なうことがあります。
4. 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境の場所を避けてください。
5. 一次電圧、二次電圧の値の確認をしてください。誤ると電気機器を損傷します。

◆お願い　「取扱説明書、施工説明書」は商品に同梱しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。

曙 キュービクル RM・PS・PW・PD形 【受電方式：PF・S形】

曙キュービクル 仕様

PS-2

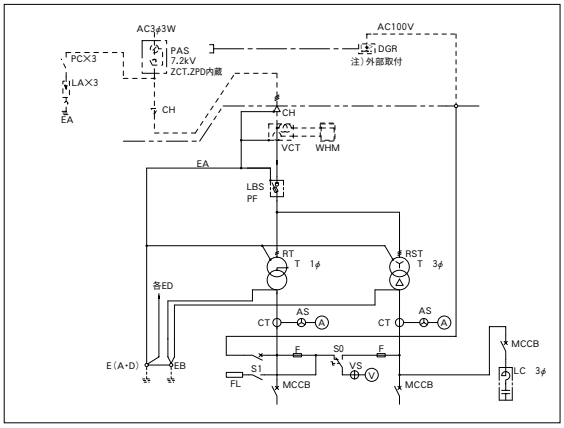
曙キュービクルは、総設備容量300kVA以下（ただし、バンク容量1φ100kVA・3φ200kVA以下）の高圧受電設備を対象に品番化した製品としてご提供するもので、主機能は下記によります。

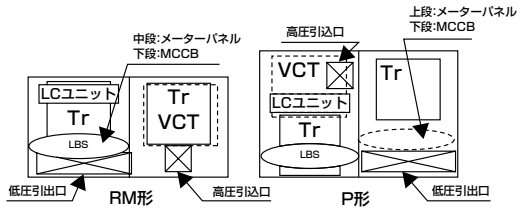
1) 電気的性能は「電気設備技術基準」「高圧受電設備規程」「JIS C 4620：2004」を拠り所とした弊社仕様に基づく製品です。
2) 主要機器は、JIS・JEM準拠品のうち弊社が選定したものです。
3) 受電設備は、PF・S形受電方式によるキュービクル式タイプで、下記によります。
   a) 進相コンデンサ設備は、高圧コンデンサ（直列リアクトルなし）設備と低圧コンデンサ（6%の直列リアクトル付）設備のものがあります。また、6%の直列リアクトル付高圧コンデンサ設備はオプション対応とします。ただし、箱体が大きくなる場合があります。
   b) 直列リアクトルなしのコンデンサ設備は、高調波障害の恐れがない場合とします。注意）事後の対策（現地改修など）はできません。
   c) 低圧コンデンサ（6%の直列リアクトル付）設備は、動力変圧器の二次側に設置し、高調波障害防止対策のほか、力率改善による変圧器の有効利用ができます。
   d) 直列リアクトルは警報接点付で、過熱警報表示灯付です。また、外部警報用（無電圧接点）端子を設けています。（別途警報盤の設置を推奨します。）
   e) 高圧側配線は、KIPとします。
   f) 低圧側フィーダー用遮断器は表面接続形、配線はHIVとします。
   g) 低圧側フィーダー用遮断器の定格遮断電流値は、変圧器容量により「JIS C 4620：2004」解説表に従い、選定しています。
4) 塗装は十分な防錆処理を施し、耐候・耐塩性に優れた粉体塗装によるもので、標準塗装色（マンセル値）は、ベージュ色（5Y7/1）とします。

低圧 LC ユニット 〈VCT 収容タイプ〉

※ VCT 外部設置タイプは、箱体サイズ・配置等が変わる場合がございます。別途お問い合わせください。

PCなし 結線図 例）GRなし





簡易機器配置図（一例）

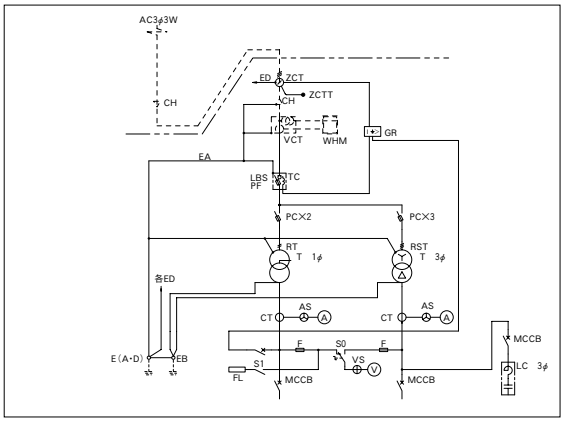
◆変圧器容量別箱体選定表

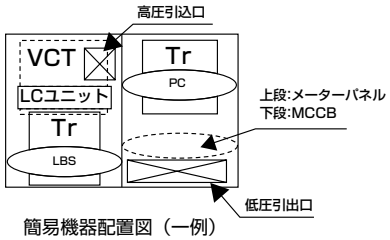
→各箱体サイズは、P.791・792をご参照ください。

3φ \ 1φ	10	20	30	50	75	100
30	RM-2					
50						
75						PW-2
100						
150	PS-2					
200						

PC付 結線図 例）GR付

※方向性（DGR）選定時は、箱体サイズが異なる場合があります。





簡易機器配置図（一例）

◆変圧器容量別箱体選定表

→各箱体サイズは、P.791・792をご参照ください。

3φ \ 1φ	10	20	30	50	75	100
30	PS-2					
50						
75						PW-2
100						
150						
200						

※品番は、P.793をご参照ください。

曙 キュービクル RM・PS・PW・PD形

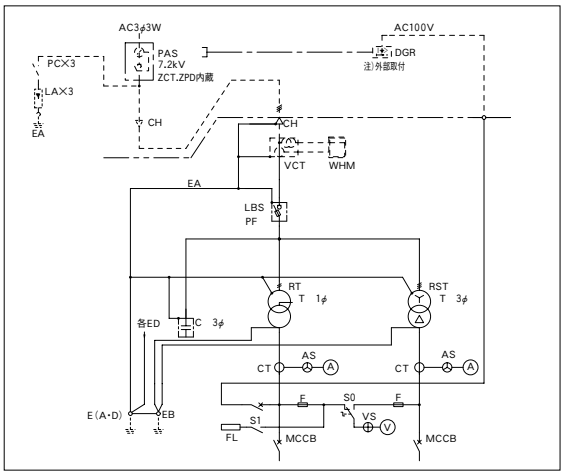
【受電方式：PF・S形】

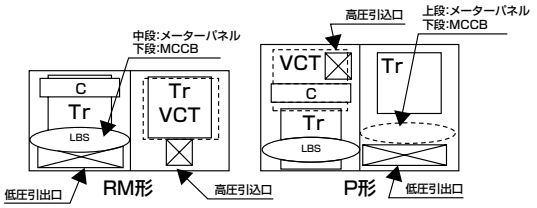
高圧 C

〈VCT 収容タイプ〉

※ VCT 外部設置タイプは、箱体サイズ・配置等が変わる場合がございます。別途お問い合わせください。

PCなし 結線図 例）GRなし





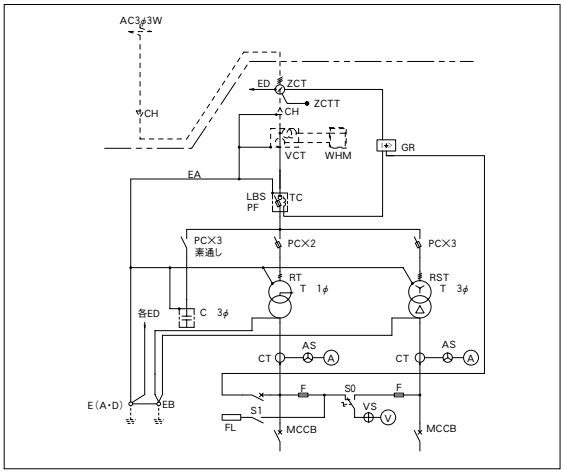
簡易機器配置図（一例）

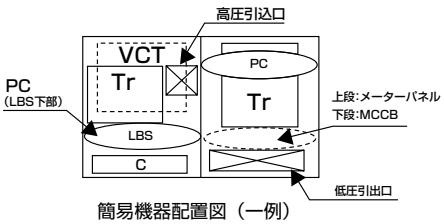
◆変圧器容量別箱体選定表
→各箱体サイズは、P.791・792 をご参照ください。

1φ / 3φ	10	20	30	50	75	100
30	RM-2					
50						
75					PS-2	
100						
150	PW-2					
200						

PC付 結線図 例）GR付

※方向性（DGR）選定時は、箱体サイズが異なる場合があります。





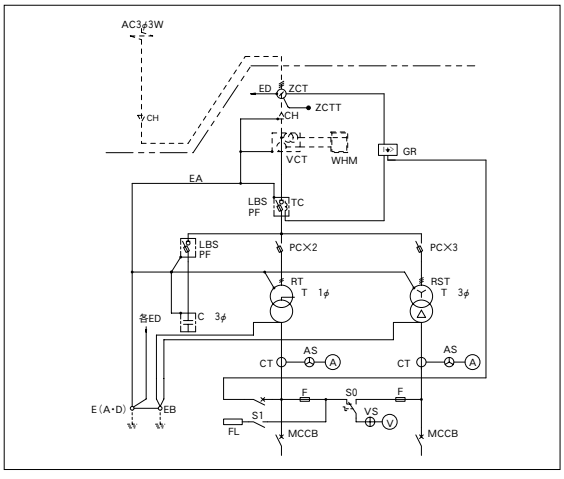
簡易機器配置図（一例）

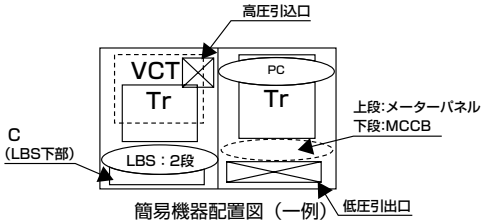
◆変圧器容量別箱体選定表
→各箱体サイズは、P.791・792 をご参照ください。

1φ / 3φ	10	20	30	50	75	100
30	PS-2				PW-2	
50						
75					PD-2	
100						
150						

PC付/C保護：LBS 結線図 例）GR付

※方向性（DGR）選定時は、箱体サイズが異なる場合があります。





簡易機器配置図（一例）

◆変圧器容量別箱体選定表
→各箱体サイズは、P.791・792 をご参照ください。

1φ / 3φ	10	20	30	50	75	100
30	PS-2				PW-2	
50						
75					PD-2	
100						
150						
200	PW-2					

※品番は、P.793 をご参照ください。

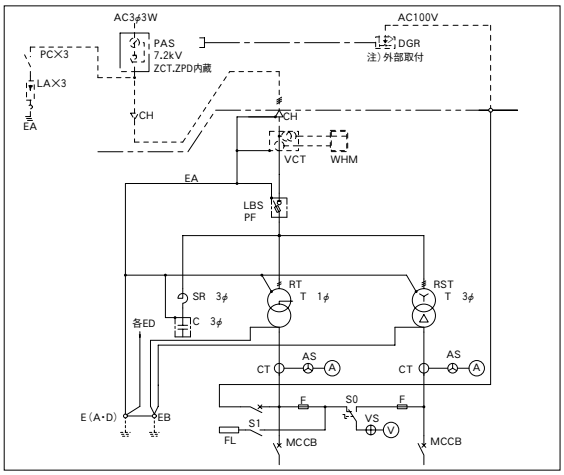
曙 キュービクル RM・PS・PW・PD形

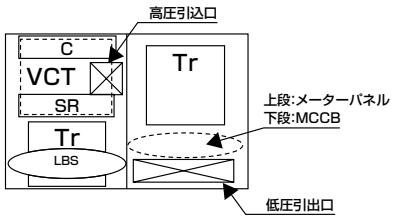
【受電方式：PF・S形】

高圧C（SR付） 〈VCT収容タイプ〉

※VCT外部設置タイプは、箱体サイズ・配置等が変わる場合がございます。別途お問い合わせください。

PCなし 結線図 例）GRなし





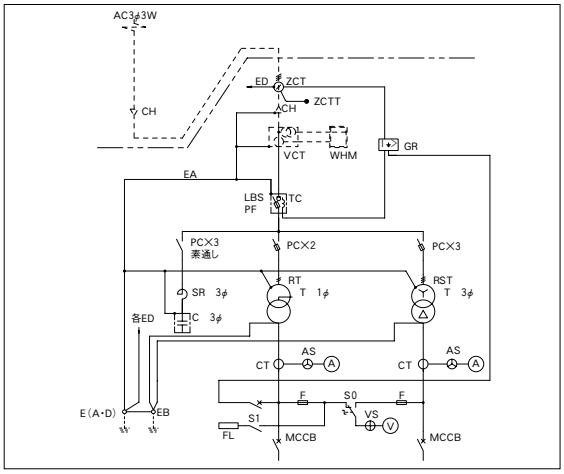
簡易機器配置図（一例）

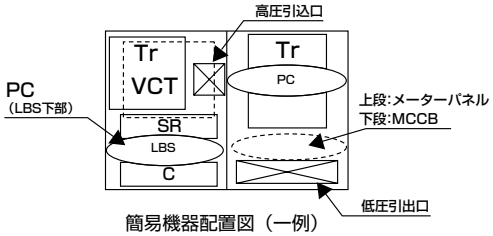
◆変圧器容量別箱体選定表
→各箱体サイズは、P.791・792をご参照ください。

3φ＼1φ	10	20	30	50	75	100
30	PS-2					
50						
75					PW-2	
100						
150						
200						

PC付 結線図 例）GR付

※方向性（DGR）選定時は、箱体サイズが異なる場合があります。





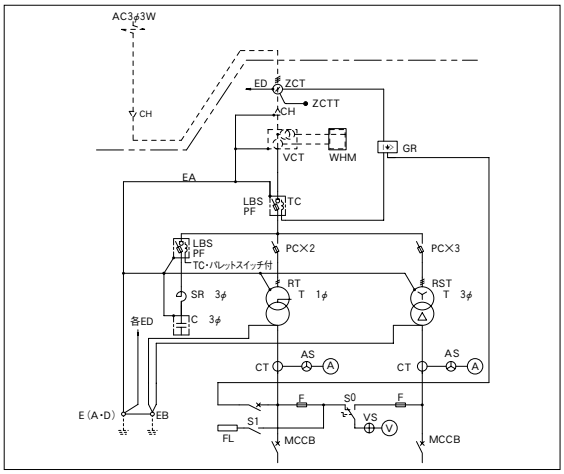
簡易機器配置図（一例）

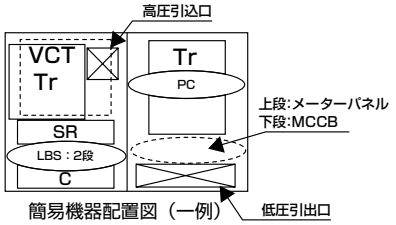
◆変圧器容量別箱体選定表
→各箱体サイズは、P.791・792をご参照ください。

3φ＼1φ	10	20	30	50	75	100
30	PS-2				PW-2	
50						
75					PD-2	
100						
150					PS-3	

PC付/C保護：LBS 結線図 例）GR付

※方向性（DGR）選定時は、箱体サイズが異なる場合があります。





簡易機器配置図（一例）

◆変圧器容量別箱体選定表
→各箱体サイズは、P.791・792をご参照ください。

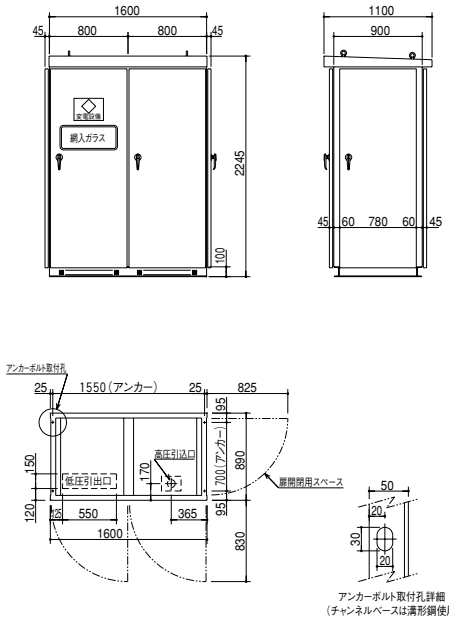
3φ＼1φ	10	20	30	50	75	100
30	PW-2					
50					PD-2	
75						
100						
150					PS-3	
200	PD-2				PW-3	

※品番は、P.793をご参照ください。

曙 キュービクル 箱体寸法図

RM-2

設備容量： 150kVA 以下



箱体使用鋼材表

● 標準仕様

構 成 部	鋼 材 種 類 （単位：mm）
側　　板	SEHC　t2.3
扉	SEHC　t2.3
屋　　根	SEHC　t2.3
底　　板	SEHC　t2.3
チャンネルベース	100×50×t5 溝形鋼（塗装仕上げ） ※下地処理として亜鉛を溶射

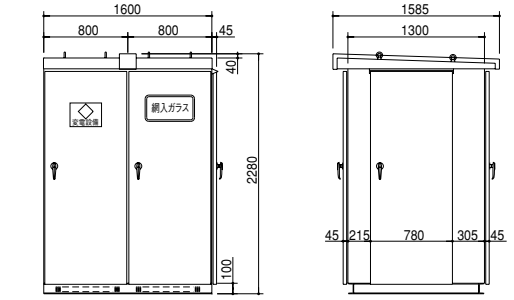
● ステンレス仕様

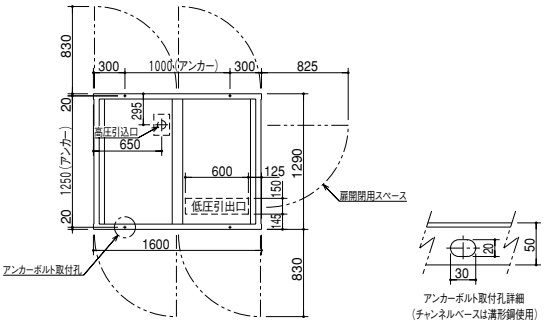
※適用箱体：P形のみです。

構 成 部	鋼 材 種 類 （単位：mm）
側　　板	ステンレス鋼板　t2.0
扉	ステンレス鋼板　t2.0
屋　　根	ステンレス鋼板　t2.0
底　　板	ステンレス鋼板　t2.0
チャンネルベース	100×50×t5 溝形鋼 ※溶融亜鉛めっき処理

PS-2

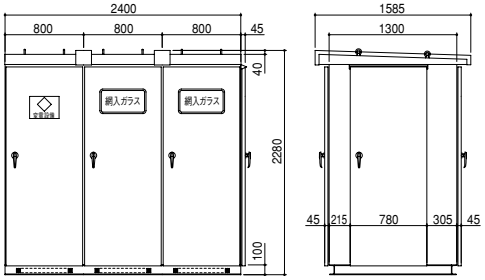
設備容量： 250kVA 以下

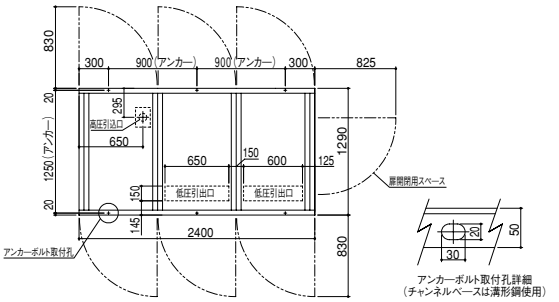




PS-3

設備容量： 250kVA 以下





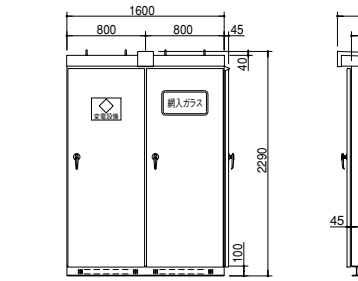
・仕様内容により、収容可能機器は異なります。
・仕様および変圧器容量は、P.788 ～をご参照ください。
・製品の質量に関しては、P.824 をご参照ください。
・基礎に関する注意事項は、P.794 の「基礎参考図」をご参照ください。
・ステンレス製も製作可能です。ただし、適用箱体：PS・PW・PD 形のみです。（受注生産品／ P.798 をご参照ください。）

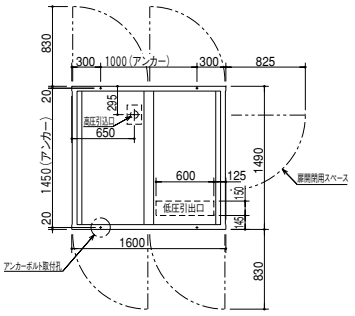
曙 キュービクル 箱体寸法図

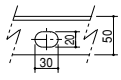
鋼材の材質・サイズは、P.791 箱体使用鋼材表をご参照ください。

PW-2

設備容量： 300kVA 以下



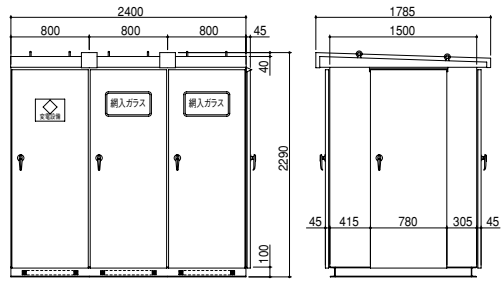


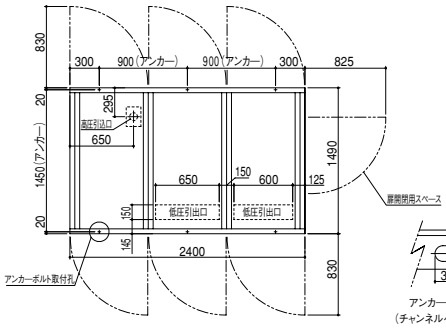


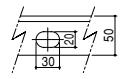
アンカーボルト取付孔詳細
（チャンネルベースは溝形鋼使用）

PW-3

設備容量： 300kVA 以下



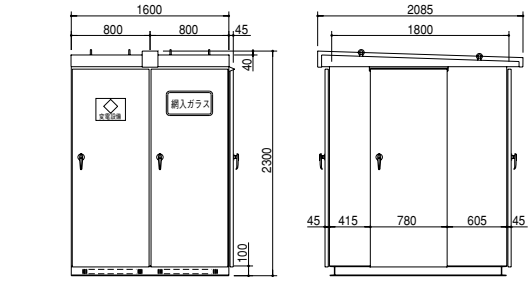


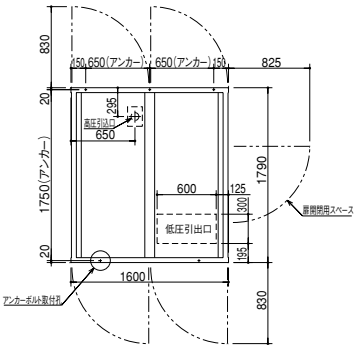


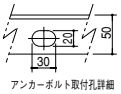
アンカーボルト取付孔詳細
（チャンネルベースは溝形鋼使用）

PD-2

設備容量： 300kVA 以下



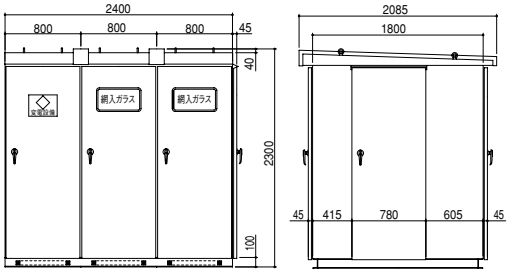


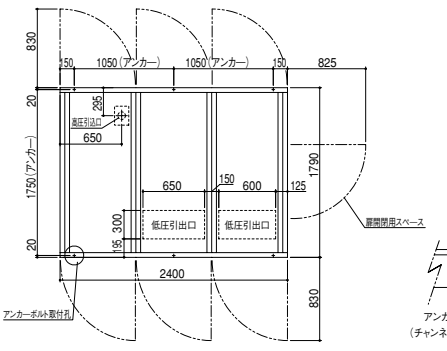


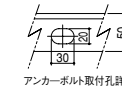
アンカーボルト取付孔詳細
（チャンネルベースは溝形鋼使用）

PD-3

設備容量： 300kVA 以下







アンカーボルト取付孔詳細
（チャンネルベースは溝形鋼使用）

・仕様内容により、収容可能機器は異なります。
・仕様および変圧器容量は、P.788 ～をご参照ください。
・製品の質量に関しては、P.824 をご参照ください。
・基礎に関する注意事項は、P.794 の「基礎参考図」をご参照ください。
・ステンレス製も製作可能です。ただし、適用箱体：PS・PW・PD 形のみです。（受注生産品／ P.798 をご参照ください。）

曙 キュービクル 製品情報

RM・PS・PW・PD形 曙キュービクル

品番構成

①②A－③④⑤－⑥⑦

記号①

入力記号	記号説明
V	VCT収容
N	VCT外部

記号②

入力記号	記号説明
T	GR付
L	GRなし

記号③ Tr保護開閉器

入力記号	記号説明
P	PC
N	なし

記号④ 動力Tr

入力記号	記号説明
03	30kVA
05	50kVA
07	75kVA
10	100kVA
15	150kVA
20	200kVA

記号⑤ 電灯Tr

入力記号	記号説明
01	10kVA
02	20kVA
03	30kVA
05	50kVA
07	75kVA
10	100kVA

記号⑥ C保護開閉器

入力記号	記号説明
L	LBS
M	MCCB
N	なし
P	PC

記号⑦ C種類

入力記号	記号説明
H	高圧C
R	高圧C+SR
L	LCユニット

箱体別ブレーカ設置可能台数表

※ブレーカ台数は、条件によって異なる場合がございます。

RM-2

●400AFブレーカを含む場合

ブレーカ容量	MCCB設置可能台数			
	組合せ①	組合せ②	組合せ③	組合せ④
225AF以下	0	1	3	4
400AF	4	3	2	1

●400AFブレーカを含まない場合

ブレーカ容量	MCCB設置可能台数
225AF以下	12

P□-2（PS・PW・PD形2連タイプ）

●400AFブレーカを含む場合

ブレーカ容量	MCCB設置可能台数			
	組合せ①	組合せ②	組合せ③	組合せ④
225AF以下	6	7	9	10
400AF	4	3	2	1

●400AFブレーカを含まない場合

ブレーカ容量	MCCB設置可能台数
225AF以下	12

P□-3（PS・PW・PD形3連タイプ）

●400AFブレーカを含む場合

ブレーカ容量	MCCB設置可能台数							
	組合せ①	組合せ②	組合せ③	組合せ④	組合せ⑤	組合せ⑥	組合せ⑦	組合せ⑧
225AF以下	12	13	15	16	18	19	21	22
400AF	8	7	6	5	4	3	2	1

●400AFブレーカを含まない場合

ブレーカ容量	MCCB設置可能台数
225AF以下	24

注意事項

※低圧LCユニットの場合は、専用ブレーカ設置のため、上表設置可能台数より少なくなります。専用ブレーカの容量により、設置可能台数が異なりますので、詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。

※上記ブレーカ台数およびブレーカ容量超過の場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

変圧器別低圧ＣＴ容量表

動力回路		電灯回路	
変圧器容量 [kVA]	低圧CT容量 [/5A]	変圧器容量 [kVA]	低圧CT容量 [/5A]
30	100	10	60
50	200	20	120
75	300	30	200
100	400	50	300
150	500	75	500
200	750	100	600

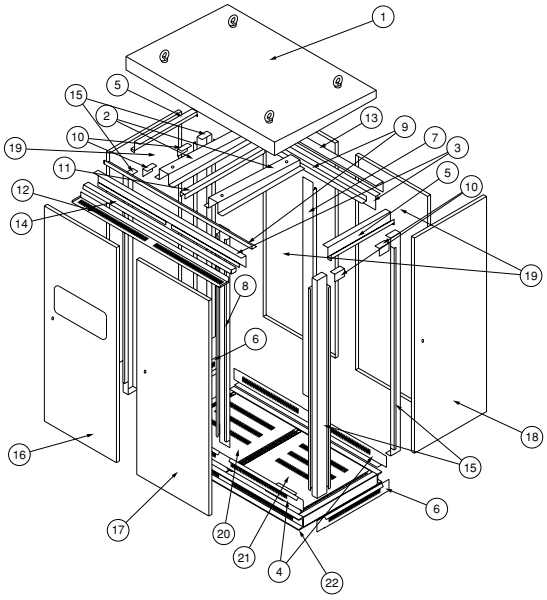
備考

1）対象範囲：PF・S形受電方式

2）動力回路電圧210V、電灯回路電圧210-105Vの場合

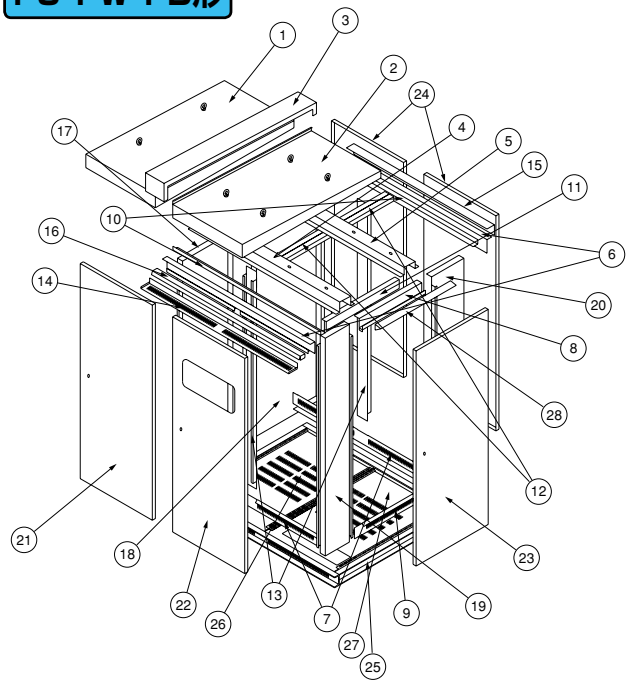
曙 キュービクル 各箱体 構造例

RM形



番　号	部　材　名　称
①	屋根
②	本体吊上げ用桟
③	上枠
④	下枠
⑤	上枠　側面
⑥	下枠　側面
⑦	中枠　背面
⑧	中枠　正面
⑨	補強枠
⑩	補強枠　側面
⑪	補強枠　中央
⑫	軒下換気板
⑬	防雨板　背面
⑭	防噴流板
⑮	側板
⑯	低圧盤扉
⑰	受電盤扉
⑱	側面扉
⑲	ボルト止め扉（開閉不可）
⑳	底板
㉑	底板
㉒	チャンネルベース

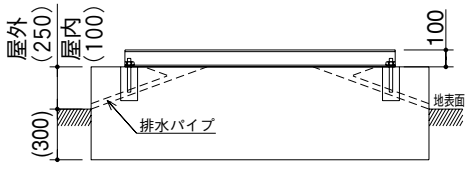
PS・PW・PD形



番号	部　材　名　称
①	屋根
②	屋根
③	屋根カバー
④	本体吊上げ用桟（前）
⑤	本体吊上げ用桟（後）
⑥	上枠
⑦	下枠
⑧	上枠　側面
⑨	下枠　側面
⑩	補強枠
⑪	補強枠　側面
⑫	補強枠　中間
⑬	中枠
⑭	軒下換気板

番号	部　材　名　称
⑮	防雨板　背面
⑯	防噴流板
⑰	側板　左前
⑱	側板　左後
⑲	側板　右前
⑳	側板　右後
㉑	受電盤扉
㉒	低圧盤扉
㉓	側面扉
㉔	背面扉
㉕	チャンネルベース
㉖	底板
㉗	底板
㉘	小屋根

基礎参考図



注１．基礎には排水パイプを設けてください。
　　排水パイプには網を張って小動物の侵入を防止してください。
注２．アンカーボルト取り付けの為の周囲空間を確保してください。

EO キュービクル

【受電方式：PF・S 形】

EOキュービクルとは

- 契約電力2000kW未満の高圧受電設備が『EOキュービクル』!
- 小容量(PF･S形)から大容量(CB形)まで幅広く対応!!
- 標準化された箱体と標準部材の組み合わせで、カスタム製品に変わるイージーオーダー(EO)製品!

EO キュービクル

本体正面部

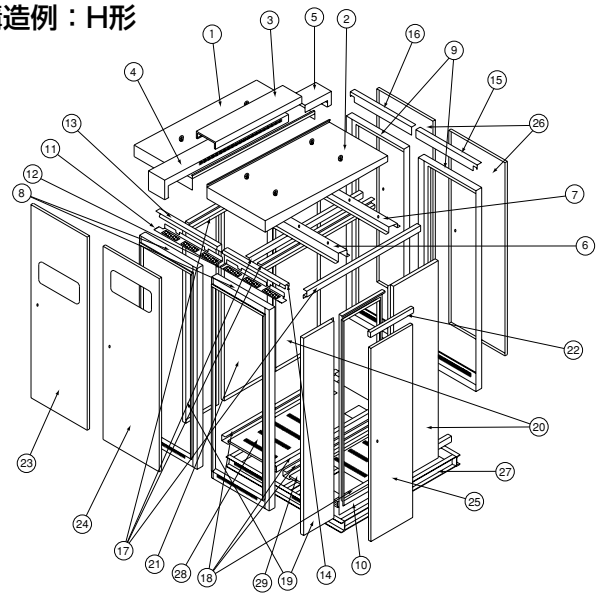
主機能

1) 認定、推奨品とは別途とし、電気的性能は電気設備技術基準、高圧受電設備規程、JISを拠り所とした弊社仕様に基づいたものです。
2) 主要機器はJIS、JEM準拠品のうち弊社が選定したものです。
3) 主遮断装置がCB形の場合は下記によります。
   a) 真空遮断器(VCB)、真空電磁接触器(VMC)は、盤直付を標準とし定格短時間耐電流は12.5kA 0.125秒以下とします。
   b) 高圧側配線はKIP(150mm²以下)とし、CT容量400A以下とします。
   c) 低圧側遮断器は表面接続形、配線はHIV、IVまたはWLで行ないます。
   d) 収容した変圧器容量により低圧側遮断器の定格遮断電流値はJIS C 4620:2004解説表に準拠しています。
4) 箱体は厚さt2.3の電気亜鉛めっき鋼板で堅牢な構造に加工したうえ、ボルト・ナット止めによる組み立て方式としています。
5) 塗装は十分な防錆処理を施し、耐候・耐塩性に優れた粉体塗装によるものです。
   ※標準塗装色(マンセル値)は、ベージュ色(5Y7/1)とします。(ご指定に応じることもできます。)

注) 上記以外の製品に対するお客様のご要望につきましては、最寄りの営業所へお問い合わせください。

展開図

構造例：H形



番 号	部 材 名 称	番 号	部 材 名 称
①	屋根	⑯	防雨板　背面（右）
②	屋根	⑰	補強枠　上部
③	屋根カバー（上）	⑱	補強枠　下部
④	屋根カバー（前）	⑲	側板
⑤	屋根カバー（後）	⑳	側板
⑥	本体吊上げ用桟（前）	㉑	側板
⑦	本体吊上げ用桟（後）	㉒	側面扉枠　上部側板
⑧	扉枠　正面	㉓	受電盤扉
⑨	扉枠　背面	㉔	低圧盤扉
⑩	扉枠　側面	㉕	側面扉
⑪	軒下換気板（左）	㉖	背面扉
⑫	軒下換気板（右）	㉗	チャンネルベース
⑬	防雨板　正面（左）	㉘	底板
⑭	防雨板　正面（右）	㉙	底板
⑮	防雨板　背面（左）		

※P形の展開図はP.794をご参照ください。

「公共建築工事標準仕様書」に基づいた対応化製品は、**Kシリーズ**をご採用ください。

EO キュービクル 外形図

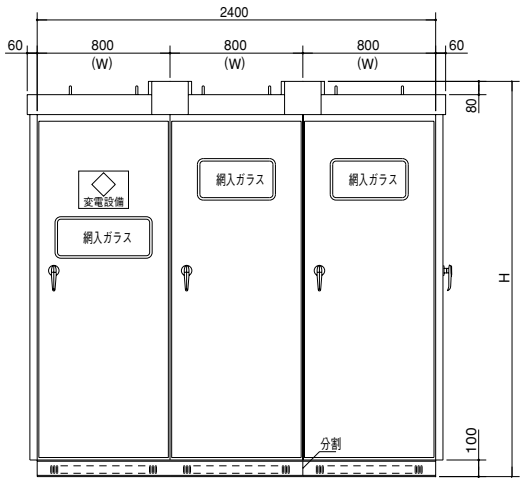
鋼材の材質・サイズは、P.791 箱体使用鋼材表をご参照ください。

H形

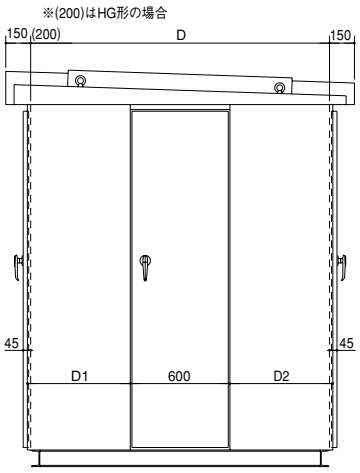
※図内、寸法(アルファベット部)は、P.798 箱体寸法表をご参照ください。

例）箱体姿図（単位幅 W＝800、連数：3）

屋外形

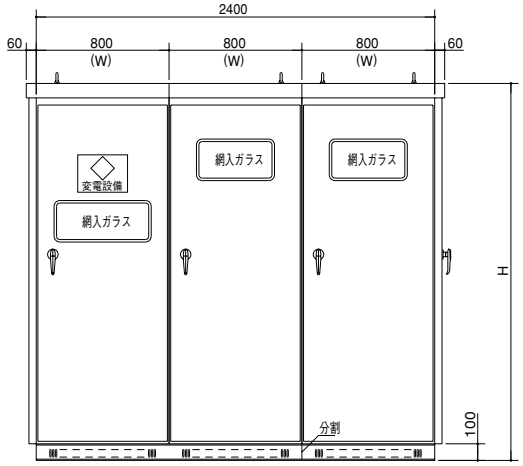


正面図

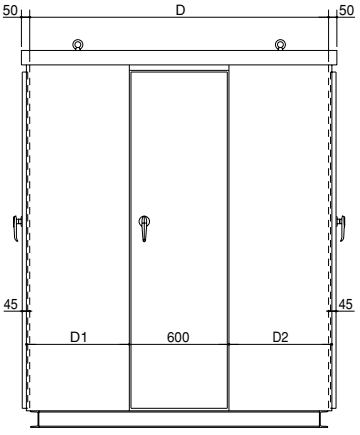


右側面図

屋内形

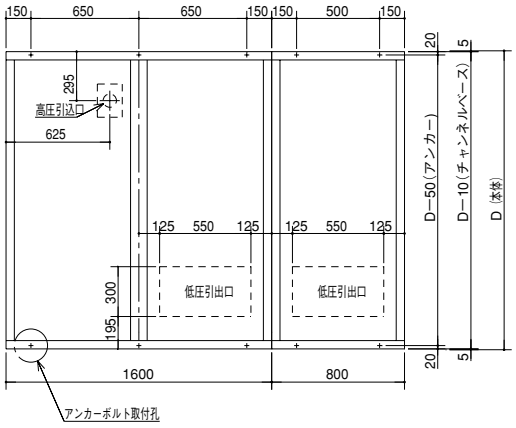


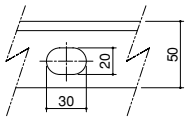
正面図



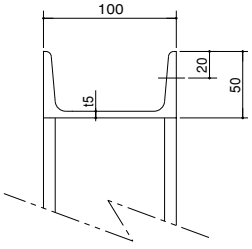
右側面図

チャンネルベース





アンカーボルト取付孔詳細



チャンネルベース詳細
（チャンネルベースは溝形鋼使用）

注　基礎には排水パイプを設けてください。
排水パイプには網を張って小動物の侵入を防止してください。（屋外形）

EO キュービクル 外形図

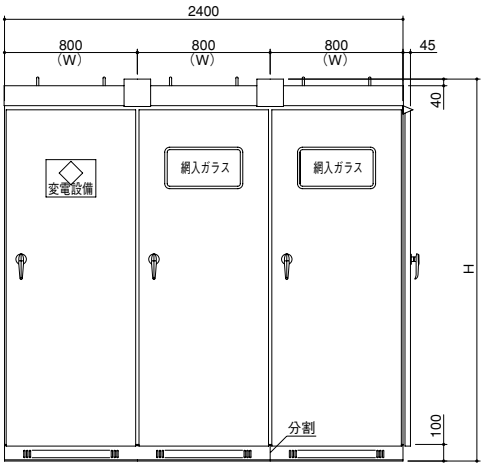
鋼材の材質・サイズは、P.791 箱体使用鋼材表をご参照ください。

P形

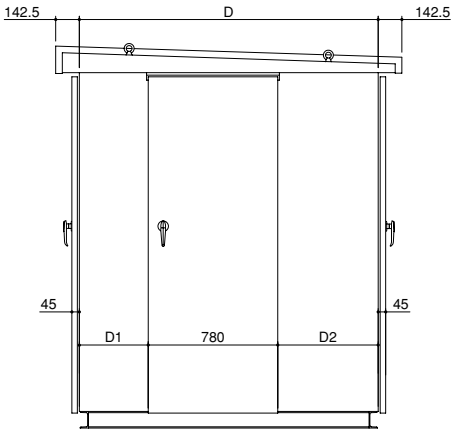
※図内、寸法(アルファベット部)は、P.798 箱体寸法表をご参照ください。

例）箱体姿図（単位幅 W＝800、連数：3）

屋外形

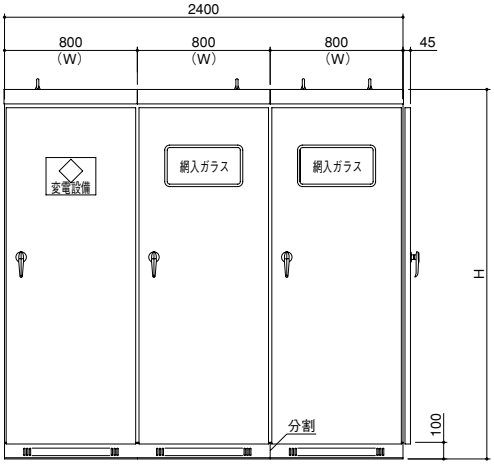


正面図

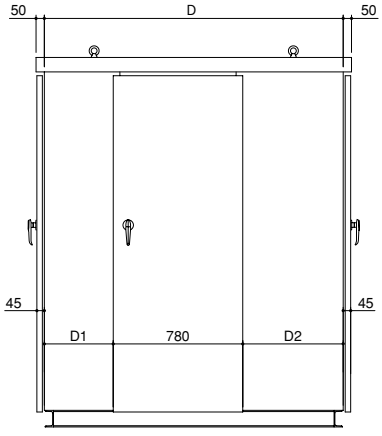


右側面図

屋内形

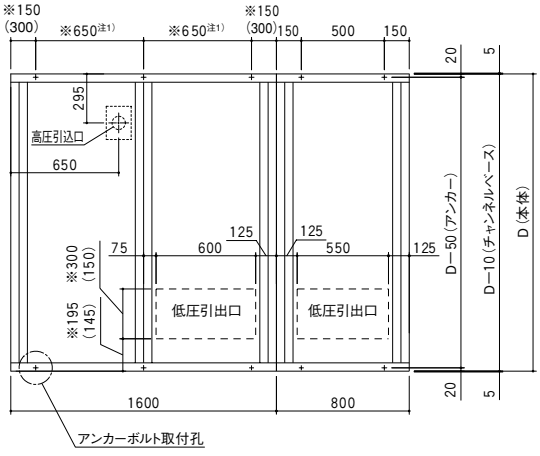


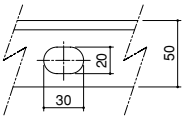
正面図



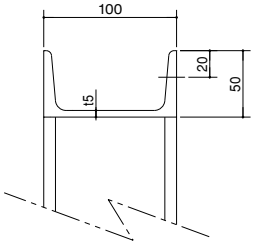
右側面図

チャンネルベース





アンカーボルト取付孔詳細



チャンネルベース詳細
（チャンネルベースは溝形鋼使用）

注　基礎には排水パイプを設けてください。
排水パイプには網を張って小動物の侵入を防止してください。（屋外形）

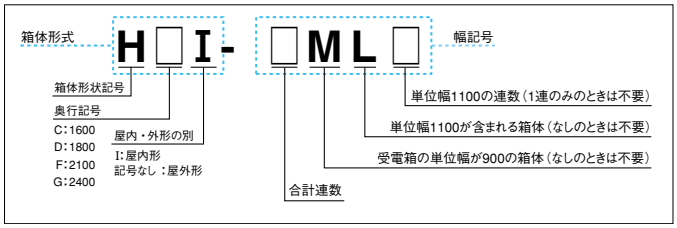
※PD形の寸法。（ ）内は、PN・PS・PW形の寸法を示す。
注1）PN・PS・PW形の場合、アンカーボルト取付穴数は、前後各2点となります。

EO キュービクル 製品情報

H形 ➡ 「屋外形」・「屋内形」をラインナップ！

箱体種類

● 箱体形名の構成　→箱体形名は、箱体形式 と 幅記号によって構成されています。



箱体寸法表

※表内の寸法部位は、箱体姿図 P.796 をご参照ください。

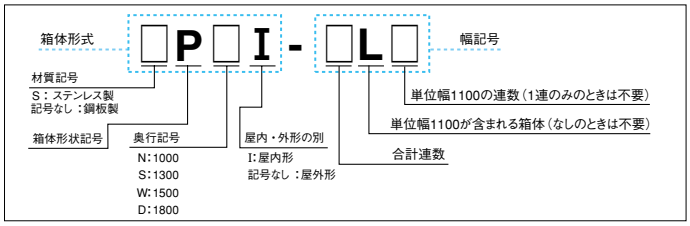
屋内・外形の別	箱体形式	奥行（㎜）			高さ（㎜）	単位幅（㎜）
		D	D1	D2	H	W
屋外形	HC	1600	420	620	2380	800（標準） 1100（標準） 900（オプション） （注）900はCB形の受電箱専用
	HD	1800	620	620	2380	
	HF	2100	620	920	2400	
	HG	2400	620	1220	2440	
屋内形	HCI	1600	420	620	2270	
	HDI	1800	620	620	2270	
	HFI	2100	620	920	2270	
	HGI	2400	620	1220	2270	

備考　1）箱体の横幅寸法は、単位幅の組み合わせの合計と側板を加えたものとなります。（ハンドルは含んでいません。）
　　2）箱体の分割部は「納入仕様書」によります。
　　3）チャンネルベース先出し（オプション）対応は可能ですが、必ず「納入仕様書」図面依頼時にご指定ください。

P形 ➡ 「屋外形」・「屋内形」・「ステンレス製屋外形」とラインナップが充実！

箱体種類

● 箱体形名の構成　→箱体形名は、箱体形式 と 幅記号によって構成されています。



箱体寸法表

※表内の寸法部位は、箱体姿図 P.797 をご参照ください。

屋内・外形の別	箱体形式	奥行（㎜）			高さ（㎜）	単位幅（㎜）
		D	D1	D2	H	W
屋外形	PN	1000	110	110	2280	800（標準） 1100（標準）
	PS・SPS	1300	215	305	2280	
	PW・SPW	1500	415	305	2290	
	PD・SPD	1800	415	605	2300	
屋内形	PNI	1000	110	110	2225	
	PSI	1300	215	305	2225	
	PWI	1500	415	305	2225	
	PDI	1800	415	605	2225	

備考　1）箱体の横幅寸法は、単位幅の組み合わせの合計と側面扉を加えたものとなります。（ハンドルは含んでいません。）
　　2）箱体の分割部は「納入仕様書」によります。
　　3）箱体とチャンネルベースの取り外しは不可です。

EO 認定キュービクル　非常電源専用受電設備

消防庁告示第7号及び第8号に基づき高圧で受電する キュービクル式非常電源専用受電設備です。 製品は（社）日本電気協会による認定審査合格品です。

消防用設備などには、消防法により非常電源の設置が義務づけられてる非常電源の一つとして、非常電源専用受電設備があります。その設置にあたっては設置場所、防火対象物によって様々な規定があります。また、非常電源専用受電設備は、消防用設備の電源確保という目的に応じた性能、高い信頼性が要求されています。

高圧受電のキュービクル式非常電源専用受電設備は厳重な審査の上、性能を有していると認められた製品に認定銘板が交付され、製品に貼付することにより、公的機関にて品質が証明されています。

認定銘板

■お願い

納入仕様書図面依頼の際は、需要家名、設置場所（住所）及び所轄の消防署名をあわせてご連絡ください。

◇認定品の種類と適用箱体範囲

主遮断装置	設置場所	設備容量 A （kVA）	適用箱体（寸法は扉を含む）				認定番号
			最小箱体	最小外形寸法（注1）〔mm〕			
				幅	奥行	高さ	
PF・S形	屋外	A≦150	HC-2	1690	1690	2380	共用142号
		150＜A≦225	HD-2	〃	1890	〃	〃 141号
		225＜A≦300	HD-3	2490	〃	〃	〃 140号
	屋内	A≦150	HCI-2	1690	1690	2270	〃 414号
		150＜A≦300	HCI-3	2490	〃	〃	〃 643号
CB形	屋外	150＜A≦300	HC-3	〃	〃	2380	〃 424号
		300＜A≦500	HD-4	3290	1890	〃	〃 138号
		500＜A≦750	HD-5	4090	〃	〃	〃 965号
		750＜A≦1000	HD-8	6490	〃	〃	〃 529号
		1000＜A≦1500	HF-10	8090	2190	2400	〃 978号
		1500＜A≦2000	HF-12	9690	〃	〃	〃 977号
	屋内	150＜A≦300	HCI-3	2490	1690	2270	〃 425号
		300＜A≦500	HDI-4	3290	1890	〃	〃 642号

（注1）収容機器により外形寸法が大きくなる場合があります。
（注2）共用965号,529号,978号及び977号は有圧換気扇付きです。

◇形式認定品と個別認定品の区分

下記のいずれかの場合、個別認定となります。(各製品毎に日本電気協会の立会審査があるため、納期がかかります。)

(1) 形式認定の区分のもの。（該当する形式認定の区分の認定品を取得していない場合）
(2) 受電設備容量が形式認定の区分を超過するもの。
(3) 外箱外形寸法が形式既取得認定のものより小さいもの。
(4) 上記以外で個別に審査が必要なもの。
　(イ) ガス絶縁変圧器を使用しているもの。
　(ロ) 三相変圧器のみのもの。
　(ハ) 低圧自家発電設備と接続するキュービクルであって、別に定める低圧自家発電設備取扱要領に該当するもの。
　(ニ) その他特殊な設備が附属しているものなど。

◇認定品の取扱いご注意

1. 認定品を改造する時は、必ず所轄消防署の許可を得る必要があります。
2. 認定品は、制約条項がありますので、最寄りの営業所にお問い合わせください。

例）共用変圧器二次側のMCCB定格電流の総容量の合計は変圧器二次電流の2.14倍以下となります。
（低圧進相コンデンサを設けた場合は当該コンデンサ保護用MCCBの電流容量も含みます。）

EO 認定キュービクル　非常電源専用受電設備

◇一般のキュービクルと異なる主な点

1）扉の施錠は2ヶ所以上(ロッド棒など)となっています。(屋外用に限る)
2）扉のハンドルは認可されたものに限ります。
3）換気扇を取り付けることはできますが、30㎝以下の鋼製の羽根のものに限られ、また、警報回路(ランプ、ブザー)付きとなっています。
4）電線の引込口及び引出口は屋外用はキュービクルの底面、屋内用は底面または天井に限られます。
5）非常電源用MCCBの二次側は耐火電線またはMIケーブルの配線となり、また、各々の非常電源用MCCBの二次側には、非常電源確認表示灯(RL)の接続が必要です。
6）非常電源用遮断器には漏電遮断器は使用できません。
なお、低圧の地絡警報として漏電警報器が必要です。
7）変圧器には、サーマルリレーによる過負荷警報装置の取り付けが必要です。
8）共用変圧器二次側のMCCB定格電流の総容量の合計は変圧器二次電流の2.14倍以下となります。
（低圧進相コンデンサを設けた場合は当該コンデンサ保護用 MCCB の電流容量も含みます。）
9）認定キュービクルを使用することにより、消防検査がスムーズになります。

◇設置上の注意事項

1）点検に便利で、火災などの災害による被害を受けるおそれが少ない位置であること。
2）可燃性または腐食性の蒸気、ガス、粉じんなどが発生、滞留するおそれのない位置であること。
3）水が浸透して機能に障害をおよぼすおそれがないこと。
4）コンクリートなど不燃性の材料で造った堅固な床または地盤面上に設けること。
5）キュービクルの固定は添付の基礎ボルトまたはそれと同等以上の強度を有するボルトで、必要な本数を使用して堅固に固定すること。

◇保有距離　高圧受電設備規程（抜粋）

1130−4　屋外に設置するキュービクルの施設

1.　屋外に設ける場合の建築物等との離隔距離及び金属箱の周囲の保有距離は、次の各号によること。（火災予防条例（例）第11条）

①　屋外に設けるキュービクル式受電設備（消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式受電設備は除く。）は、建築物から3m以上の距離を保つこと。ただし、不燃材料で造り、又はおおわれた外壁で開口部のないものに面するときは、この限りでない。

〔注〕消防長が火災予防上支障がないと認められる構造を有するキュービクル式受電設備としておおむね次のものがある。
（1）消防庁告示第7号「キュービクル式非常電源専用受電設備の基準」に適合するもの。
（2）（社）日本電気協会の認定品及び推奨品。

②　金属箱の周囲の保有距離は、1m＋保安上有効な距離以上とすること。ただし、隣接する建築物等の部分が不燃材料で造られ、かつ、当該建築物等の開口部に防火戸その他の防火設備が設けてある場合にあっては、1130−3（屋内に設置するキュービクルの施設）に準じて保つことができる。

〔注〕保安上有効な距離とは、**1130−2表**（キュービクルの保有距離）〔備考2〕参照。

1130−3(屋内に設置するキュービクルの施設)

1130−2表　キュービクルの保有距離

保有距離を確保する部分	保有距離〔m〕
点検を行う面	0.6 以上
操作を行う面	1.0 ＋保安上有効な距離以上
溶接などの構造で換気口がある面	0.2 以上
溶接などの構造で換気口がない面	−

〔備考1〕溶接などの構造とは、溶接又はねじ止めなどにより堅固に固定されている場合をいう。
〔備考2〕保安上有効な距離とは、開閉装置等の操作が容易に行え、かつ、扉を開いた状態（固定）で人の移動に支障をきたさないように1.0mに加える距離をいう。

EO 推奨キュービクル

JIS規格、電気設備技術基準および推奨基準に基づいた（社）日本電気協会の推奨審査品です。

◇ 推奨品の種類と適用箱体範囲

主遮断装置	設置場所	設備容量 A (kVA)	適用箱体（寸法は扉を含む）				推奨番号
			最小箱体	最小外形寸法（注1）〔mm〕			
				幅	奥行	高さ	
PF・S形	屋外	A≦150	HC-2	1690	1690	2380	481号
		150＜A≦225	HD-2	〃	1890	〃	562号
		225＜A≦300	HD-3	2490	〃	〃	561号
CB形		150＜A≦300	HC-3	〃	1690	〃	645号
		300＜A≦500	HD-4	3290	1890	〃	558号

（注1）収容機器により外形寸法が大きくなる場合があります。

●推奨品

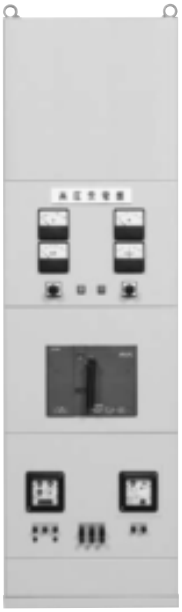
推奨銘板

(社)日本電気協会の〈推奨〉に合格しており安心してご使用いただけます。

■お願い
納入仕様書図面依頼の際は、需要家名及び、設置場所(住所)をあわせてご連絡ください。

EO マルチパネル 高圧盤

自立形



フレームパイプ取付形

特　長

■ 高圧用機器の組み合わせにより多種・多様なニーズに対応。
- ・計測機器、遮断器、保護機器等 設置パネルのユニット化を実現。
  → これにより必要な回路の組み合わせが可能。

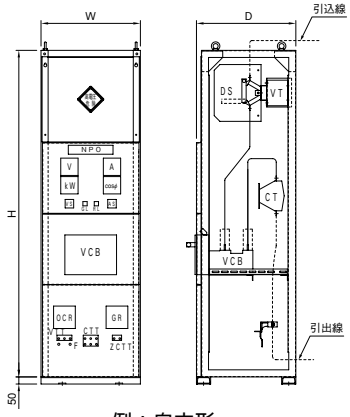
■ リニューアル工事にも容易に対応。
電気室などへ設置する『単独設置形』をシリーズ化。
- ・パネルのユニット化により、将来改修時ユニット化した該当パネルごとの取り替えで対応。
- ・自立形とフレームパイプ取付形の2種類ラインナップ。
- ・既設フレームパイプへの取り付けにも対応。
  → 弊社既設製品を設置しているフレームパイプが流用可能。

■ 電気的仕様

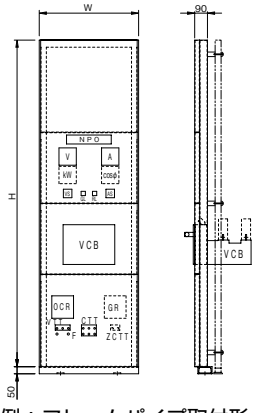
公称電圧	6600V
周波数	50/60Hz
断路器	200A、400A、600A
真空遮断器（手動ばね操作）	400A 8kA ／ 600A 12.5kA
変流比	200／5A（※KIP 60mm²以下）

外形図

塗装色（マンセル値）
ベージュ色（5Y7/1）



例：自立形



例：フレームパイプ取付形

※ご注意事項

- 高圧回路盤内配線は、KIP電線となります。
- 自立形の場合、高圧引込線は上側、高圧引出線は下側からとなります。
- 自立形の場合、高圧充電部の露出部は、充電部保護カバー付となります。
- チャンネルベースは、先行手配が可能です。ただし、自立形の場合は形状が一部異なります（高さ50mmは同じですが、前後一体形状です）。

寸法表

用　途	遮断器		基本寸法（mm）		
	種　類	仕　様	単独(一面あたり)		
			高さ(H)	幅(W)	奥行(D)
受電用	VCB	8kA 400A 12.5kA 600A	2300	700	700※
饋電用					
饋電用（VT無）					

※フレームパイプ取付形の場合は、奥行（D寸法）90mmとなります。

品番構成

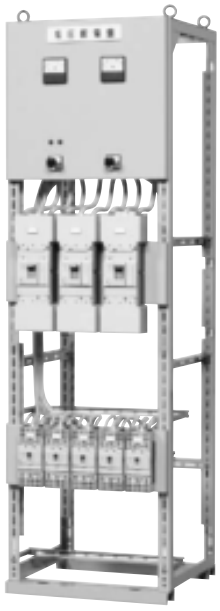
※チャンネルベース先行手配の場合は、ご発注時にお申し付けください。ご発注後にご要望された場合、対応出来ない場合がございます。

M P K T ① － 2370 － ②

入力記号	記号説明
J	受電盤
K	饋電盤

入力記号	記号説明
70	自立形
09	フレームパイプ取付形

EO マルチパネル 低圧盤



配線用遮断器表面形

配線用遮断器埋込形

特　長

■ 低圧用機器の組み合わせにより多種・多様なニーズに対応。
- ・計測機器、遮断器、保護機器等 設置パネルのユニット化を実現。
  → これにより必要な回路の組み合わせが可能。

■ リニューアル工事にも容易に対応。
電気室などへ設置する『単独設置形』をシリーズ化。
- ・パネルのユニット化により、将来改修時ユニット化した該当パネルごとの取り替えで対応。
- ・自立形とフレームパイプ取付形の2種類ラインナップ。
- ・既設フレームパイプへの取り付けにも対応。
  → 弊社既設製品を設置しているフレームパイプが流用可能。

■ オプションにて配線用遮断器の埋込形（FP付）も対応。

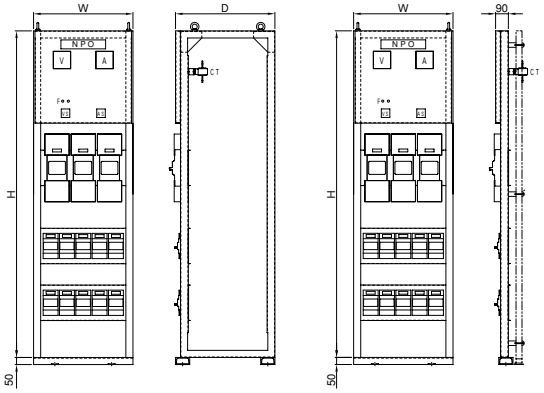
■ 電気的仕様

周波数	50/60Hz	
電灯変圧器	300kVA 以下	6600/210-105V
動力変圧器	500kVA 以下	6600/210V

外形図

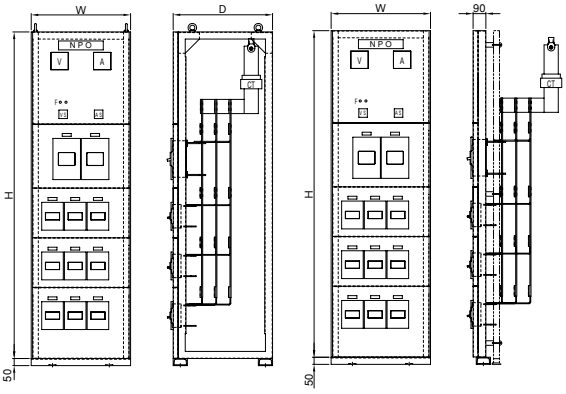
塗装色（マンセル値）
ベージュ色（5Y7/1）

※ご注意事項
・ 2系統は、幅800mm以上となります。



例：自立形　例：フレームパイプ取付形

表面形



例：自立形　例：フレームパイプ取付形

埋込形

寸法表

系統数	計　器	基本寸法(mm) 単独(一面あたり) 高さ(H)	幅(W)	奥行(D)
2	V×2 A×2	2300	800	700※
			900	
			1000	
1	V×1 A×1	2300	700	700※
1	A×1		800	
1	無し		900	
			1000	

※フレームパイプ取付形の場合は、奥行（D寸法）90mmとなります。

品番構成

※チャンネルベース先行手配の場合は、ご発注時にお申し付けください。ご発注後にご要望された場合、対応出来ない場合がございます。

M P L T ① − 23 ② − ③

入力記号	記号説明
F	配線用遮断器：表面形
R	配線用遮断器：埋込形

入力記号	記号説明
70	幅：700
80	幅：800
90	幅：900
100	幅：1000

入力記号	記号説明
70	自立形
09	フレームパイプ取付形

Kシリーズ K形キュービクル式配電盤

「公共建築工事標準仕様書」に基づき、設計・製作する対応化製品です。

K形キュービクル式配電盤は、総設備容量300kVAまでのPF・S形受電設備及びこれを超えるCB形受電設備を、あらかじめ用意された箱体と標準部材の組み合わせによって標準化した製品をご提供するものです。

●外観

本体正面部

●低圧盤部

内部配線

概　要

1）仕様は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」によります。
その他は弊社仕様に基づいたものです。
2）認定・推奨品の製作も可能です。
3）主要機器はJIS・JEM準拠品のうち、弊社が選定したものです。
4）受電設備はキュービクルタイプで主な構成は下記となっています。
a）真空遮断器（VCB）・高圧負荷開閉器（LBS）受電を標準とし、定格短時間耐電流は12.5kA 0.125秒以下とします。
b）高圧側配線はKIP（150mm²以下）とし、CT容量400A以下とします。
c）計器は110角の広角度形です。
d）収容した変圧器容量からの送り出し配線用遮断器の定格遮断電流値はJIS C 4620:2004解説表によります。
5）箱体は厚さt2.3の電気亜鉛めっき鋼板で堅牢な構造に加工したうえ、ボルト・ナット止めによる組み立て方式で底板付きです。
6）塗装は十分な防錆処理を施し、耐候・耐塩性に優れた粉体塗装によるものです。
※標準塗装色（マンセル値）は、ベージュ色（5Y7/1）とします。（ご指定に応じることもできます。）
注）製品に対するお客様のご要望につきましては、最寄りの営業所へお問い合わせください。

箱体寸法選定チャート フラッシュプレート形配線用遮断器使用の場合

STEP1.　設備の最大変圧器容量により、高さ・奥行（箱体形式）を決めます。

屋外形					屋内形				
箱形形式	高さ (mm)	奥行 (mm)	最大変圧器容量（kVA）		箱形形式	高さ (mm)	奥行 (mm)	最大変圧器容量（kVA）	
			電灯	動力				電灯	動力
HF	2400	2100	200	300	HFI	2270	2100	200	300
HG	2440	2400	300	500	HGI		2400	300	500

STEP2.　設備の最大変圧器容量と配線用遮断器台数などにより、横幅を決めます。
ただし、配線用遮断器台数が多い場合は 1 ランク大きめを選定してください。
※ EL（漏電火災警報器）が付く場合は、配線用遮断器設置可能台数が 1 台少なくなります。

横幅（mm）	最大変圧器容量（kVA）		配線用遮断器最大取付台数	
	電灯	動力	400AF	225AF以下
800	150	100	0	12
			3	4
1100	300	200	0	15
			4	5
1600（800×2面）	−	500	0	24
			6	8

STEP3. 高圧盤の選定
高圧受電盤及び高圧コンデンサ盤の選定をします。

1. 高圧受電盤は、横幅800（mm）1面で収容できます。（電力会社計器盤スペース除く）VCB引出形及びDSインターロックを設ける場合には、横幅900（mm）となります。
※VCTスペースが大きい場合など、必要に応じて横幅900（mm）も対応可能です。
2. 高圧コンデンサ盤は、横幅800（mm）1面で2バンクまで収容できます。
※3バンク有る場合は、横幅800（mm）2面必要となります。

注意1）現場設置スペースの都合など箱体選定チャートによらない場合は、当社営業員にご相談ください。
注意2）電灯変圧器500kVA及び動力変圧器750kVAに関しては、当社営業員にご相談ください。
注意3）箱体寸法選定チャートは、概略寸法を選定する資料です。